

新宿区とコラボレーション！
何でも挑戦！一中生は、何でもできるんです！

新宿を冷やそう 打ち水大作戦

JRC部



真夏の消費電力節約の意識を高め、地球温暖化について考える新宿区の企画「新宿を冷やそう！打ち水大作戦」に地域のボランティア活動をしているJRC部が挑戦しました。活動は夏休みに入った7月22日から5回実施。JRC部が中心になり準備を進め、東京都吹奏楽コンクール大会の練習で登校していた吹奏楽部、そしてボランティア生徒述べ30名が参加。雨水タンクの水を利用して、ジョーロやボウルを手に1回30分程度打ち水を行ってみました。

区のホームページには、「打ち水にはコンクリートやアスファルト舗装の温度を下げ、気化熱によって周囲の気温を低下させる効果があります。昔からの良き風習を通じて涼を得ると共に地球温暖化問題について考えてみませんか？」とあり一同温度計のメモリに注目していましたが、結果は「む・む・む、変わらない？」「1度下がったのでは？」でした。温度計には嫌われてしまいましたが、生徒たちは「涼しい～～」、
「気持ちがいい」と、体感温度はしっかりと下がったようでした。

どんな活動でも、進んで参加してみんなで楽しめる。明るく前向きな生徒が多いのが一中の伝統です。

ごみ(5.30) ゼロデー



ごみゼロデーとは、5月30日(ごみゼロ)にちなんで、区内全域で一斉道路清掃をする日の事です。区のホームページには、『この活動は新宿区内の環境美化意識の高揚を図り、ごみの散乱を防止し、ごみのポイ捨て防止のPRをより効果的に行うために、町会・事業者等、地域の団体と協力して「美化の輪」を一層広げていくものです。』と活動の主旨がありました。

本校では、生徒会が中心となってクリーンインストラクター、ボランティア生徒、サッカー部など40名が参加しました。昨年までは、運動部が中心となって100名近い参加がありましたが、参加者が多過ぎる為に通行の方の迷惑になったり、参加の先生の目が届くよう生徒の安全面も考えて、今年は参加人数を調整することにしました。

生徒会長の挨拶では、秋の落ち葉掃きと同様に以下の注意点の説明がありました。どんな活動でも、ただ楽しむだけではなく「考え工夫する」学習の場であることを常に意識することができるのが一中生です。

- 1.清掃活動を通じて地域の方とのふれあいを大切にする。(こちらから積極的に挨拶を行う)
- 2.通行の方の邪魔にならないよう注意する。
- 3.班行動の中で自分の役割を意識し、班全体の効率を上げる。
- 4.どうすれば綺麗に、早くできるか常に改善の工夫と声掛けを行う。
- 5.準備や後片付けなど自分ができることはないか気を配る。
- 6.自動車、自転車と接触しないよう十分注意、声掛けをする。



そして、今回より本校クリーンインストラクター認定生徒によるごみ分別のレクチャーも行い、分別の正しい知識を身に付けると共に、より一層の資源リサイクルの意識付けを行う事ができました。



生徒会長から説明



インストラクターの活躍



「私、掃除が好きなんです」と嬉しいコメントも



サッカー部は、校庭を清掃